

## リニューアルに向けて

山口県立美術館が開館したのは1979年。全国的な美術館建設ブームの時期でした。それからすでに32年。社会情勢は大きく変化し、人びとのライフスタイルも様変わりしました。

それにともない美術館の社会的役割も変化せざるをえない状況になったといえるでしょう。作品を展示するだけの豪華なハコではなく、作品と場所が一体となった魅力あるスペースとしての在り方が望まれるようになってきたのです。以前にもましていっそう地域に密着したきめ細やかな活動が望まれるようになってきているのではないかと。そのことを私たちは、とくに近年、ひしひしと肌で感じ取っていました。

今回の改修工事は、こうした外界の変化に対する美術館内部からの反応でした。それは、あるべき将来の姿を見すえての大きかりな「脱皮」だったと思っています。古くなった機器・設備を交換する、美術館の玄関周りをより快適なスペースに模様替える、一部展示室はコレクションの展示に合致するように作り替える…。今までの古い殻を脱ぎ捨て、より軽やかにしなやかに動ける「身体」を整えようとしたのです。

そして今、脱皮を契機に新しい身体を獲得した美術館が、よりいっそう活力に富んだ魅力ある「動き」を皆さんに見せることができたらいいと思います。地域のなかでさらに大きく育っていかたいとも願っています。「脱皮しない蛇は滅びる。意見を脱皮していくことを妨げられた精神も同じである」という格言のごとく、美術館が美術館であることをやめ、たんなるハコに成り下がってしまわないように――。

どうぞ、新しくなった山口県立美術館にご期待下さい。

学芸専門監 齋藤 郁夫

# 2012 - 2013

## schedule

山口県立美術館 平成24年度年間スケジュール

	展示室 A	展示室 B	展示室 C	展示室 D	展示室 E	展示室 F
4	4/26-7/5	4/26-7/5	4/26-5/13 〈雪舟と雲谷派1〉 雪舟を継ぐ	4/26-6/10		
5	山口の作家	〈シベリア・シリーズ 大解剖! その1〉 きれいになって 帰ってきました! —平成23年度修復 完了作品お披露目	5/15-6/10 初夏の風景	リニューアル特別企画 ヨーロッパ絵画400年の輝き カンヴァスに描かれた女性たち		
6			6/12-7/5 〈雪舟と雲谷派2〉 寛永画壇の偉才 ・雲谷等益		6/15-7/5 澄川喜一 —マスクからそのの あるかたちへ—	6/26-7/1 第30回山口県書道連盟展
7	休館(7/6-7/11)					
8	7/12-9/9	7/12-9/9 〈シベリア・シリーズ 大解剖! その2〉	7/12-8/12 絵画と絵図 —土地を描く1—	7/24-8/26		
9	スポーツと美術 —躍動する人体—	シベリア・シリーズ ができるまで	8/14-9/9 絵画と絵図 —土地を描く2—	特別展 防長の絵図 —美しき古地図の世界—	特別展 生誕100年記念 ロベール・ドアノー展	
10	休館(9/10-9/21)			休室(8/27-10/3)		
11	9/22-12/24	9/22-12/24	9/22-10/28 〈雪舟と雲谷派3〉 桃山画壇の雄・ 雲谷等顔	10/4-10/21	第66回山口県美術展覧会	
12	生誕100年企画 松田正平小品展 —N氏の肖像	〈シベリア・シリーズ 大解剖! その3〉 色でみる シベリア・シリーズ	10/30-12/2 〈雪舟と雲谷派4〉 雪舟と雪舟流	11/6-12/24	11/17-12/24	
1	休館(12/25-1/7)					
2	1/8-3/31	1/8-3/31	1/8-2/3 理想の楽園 —花鳥画の世界—	1/8-2/3 中国絵画の世界	1/22-1/27(予定) 第65回山口県学校美術展覧会	
3	美術の美は ビックリのビ	〈シベリア・シリーズ 大解剖! その4〉 作品でたどる 香月の「シベリア」	2/5-3/3 〈雪舟と雲谷派5〉 瀟洒な美意識	2/5-3/3 京の日本画 森寛斎と森派	2/6-2/10 山口県立大学卒業制作展	2/14-2/17 山口芸術短期大学卒業制作展
			3/5-3/31 〈雪舟と雲谷派6〉 奇想と幻想の風景	3/5-3/31	2/21-2/24 山口大学教育学部 美術教育卒業・修了制作展	
					大いなる「大」	

### Information

■休館日  
月曜日 ※ただし4月30日(月・振替休日)は開館  
(月曜が祝日もしくは振替休日の場合は翌日休館)  
臨時休館 7月6日(金) - 7月11日(水)、9月10日(月) - 9月21日(金)、  
12月25日(火) - 2013年1月7日(月)

■9:00-17:00(入館は16:30まで)  
■料金  
コレクション展: 一般300(240)円 学生200(160)円  
( )内は20名以上の団体料金。  
18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、  
特別支援学校に在学する方等は無料。

特別展: 別途定めた料金



山口県立美術館  
Yamaguchi Prefectural Art Museum  
〒753-0089 山口市龜山町3-1  
TEL: 083-925-7788 FAX: 083-925-7790  
http://www.yma-web.jp/

Yamaguchi Prefectural Art Museum

# 117

2012年4月26日(木)  
リニューアルOpen

Contents

シリーズでみるコレクション

リニューアル特別企画

ヨーロッパ絵画400年の輝き  
カンヴァスに描かれた女性たち

生誕100年記念 ロベール・ドアノー展  
防長の絵図—美しき古地図の世界  
リニューアル  
年間スケジュール

山口県立美術館ニュース「天花」

# 天花

TENGE

Collection

コレクション展

〈雪舟と雲谷派1〉  
雪舟を継ぐ  
4/26 木 - 5/13 日

表紙作品解説

《山水図屏風(右隻)》 伝雪舟筆 16世紀 山口県立美術館蔵

明治42(1909)年に東京の審美書院が発行した『雪舟画集』という画集があります。この本は、近代日本で最初に作られた雪舟に関する本格的画集でした。この本の巻頭第一図として、カラー図版つきで掲載された作品が表紙の「山水図屏風」です。当時の所蔵者は毛利元昭公爵。おそらくこの『雪舟画集』が刊行された時点では、この絵は雪舟画の中でもとくに優れたものと考えられていたでしょう。しかし、時代が進み雪舟画の鑑識がより厳しくなるなかで、この作品は「雪舟真筆」の座を失い、毛利家の元をも離れ、いつしか顧みられることなく忘れ去られるにいたりました。山口県立美術館がこの作品をあらためて見出し、収蔵作品に加えたのは平成12(2000)年のことです。

それ以後、当館ではさまざまな観点からこの作品の見直しを進めてきました。その結果、この絵は雪舟真筆とは認められないものの、雪舟の没後、その弟子たちのうちの一人によって描かれたものではないかという可能性が考えられるようになってきました。あるいは雪舟その人の絵を、弟子がそっくり模写したものなのかもしれません。雲谷等顔(1547-1618)や雲谷等益(1591-1644)といった雲谷派の画家たちがよく似た絵を残しており、彼らはこの絵を「雪舟画」として学んでいたようです。この絵の歴史的価値は今また見直されつつあると、いってよいでしょう。

(当館学芸員 荏開津 通彦)

山口県立美術館ニュース「天花」第117号 平成24年3月発行 編集センター/ハナリウチエビエ

発行 山口県立美術館 印刷 読報社写真印刷株式会社



《山水図屏風(右隻)》 伝雪舟筆 16世紀 山口県立美術館蔵

## シリーズで見るコレクション

2012年度のコレクション展は、2つの年間シリーズ企画で山口の美術をご紹介します。  
ひとつは、4回の展示で香月泰男(1911-1974)のシベリア・シリーズの魅力に迫る「シベリア・シリーズ大解剖!」。もうひとつは、6回の展示で雪舟等楊(1420-1506?)と、その画風を継承した萩藩御用絵師、雲谷派の画家たちを辿る「雪舟と雲谷派」です。  
1年を通してじっくりと、様々な角度から作品をご覧いただく年間シリーズ企画をどうぞお楽しみください。

### 年間企画 シベリア・シリーズ大解剖!

その1 **きれいになって帰ってきました! -平成23年度修復完了作品お披露目-**  
4月26日-7月5日

その2 **シベリア・シリーズができるまで**  
7月12日-9月9日

その3 **色でみるシベリア・シリーズ**  
9月22日-12月24日

その4 **作品でたどる香月の「シベリア」**  
2013 1月8日-3月31日



《道》 香月泰男  
1972年 山口県立美術館蔵

### 年間企画 雪舟と雲谷派

その1 **雪舟を継ぐ**  
4月26日-5月13日

その2 **寛永画壇の偉才・雲谷等益**  
6月12日-7月5日

その3 **桃山画壇の雄・雲谷等顔**  
9月22日-10月28日

その4 **雪舟と雪舟流**  
10月30日-12月2日

その5 **潇洒な美意識**  
2013 2月5日-3月3日

その6 **奇想と幻想の風景**  
3月5日-3月31日



《牧牛図(牧童)》 雪舟等楊  
15世紀 山口県立美術館蔵

リニューアル特別企画 *Elegant Women of European Art*

## ヨーロッパ絵画400年の輝き

カンヴァスに描かれた女性たち

2012年4月26日(木) - 6月10日(日)



《マリイ・ド・セヴィニエ (?) の肖像》 アンリ・ガスカル  
17世紀後半-18世紀初

### 400年の時を超えて 一描き継がれた女性の魅力

聖母マリアの慈愛に満ちた眼差しや恋多きヴィーナスの艶やかな肢体。美しく、気品のある女性のイメージは古くから多くの人々を惹きつけてきました。  
このたびは、ポーランドのヨハネ・パウロII世美術館より、「女性」をテーマにヨーロッパ絵画の精華61点をご紹介します。16世紀から19世紀までの名品をたどりながら、400年の時を超えて描き継がれたエレガントな女性たちの競演をお楽しみください。



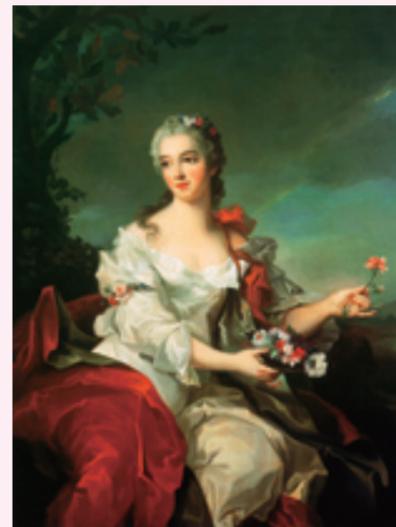
《聖母子》 アニバレ・カルラッチ 1587年

### 聖母マリアと聖女

ヨーロッパ絵画にはキリスト教の主題をもとにした作品が多く、なかでも聖母マリアは多くの画家たちによって繰り返し描かれてきました。聖母の慈愛に満ちた穏やかな表情には、時代や場所を超えて共通する母性の表現を感じとることができます。

### 貴婦人の肖像

豪華なドレスで着飾った貴婦人の肖像画は、ヨーロッパ絵画の歴史を彩ってきました。その滑らかなシルクの質感や細かな刺繍、繊細なレースの表現は、ヨーロッパの王侯貴族を満足させた画家の卓越した技量を感じさせます。



《花の神フローラに扮する女性》  
ジャン＝マルク・ナティエ 1753年



《ルクレティアの死》  
16世紀ポローニャ派、ティツィアーノの追随 1527年

### 神話の女神と 伝説の女性たち



《ピンク色のドレスを着た少女》  
ライムンド・マドラソン・イ・ガレッタ 19世紀後半-20世紀前半

### 小さなレディー

### 母のまなざし

母と子はどの時代、どの国においても親密で愛情深く、美しい神聖な存在です。我が子を抱き上げてあやす母親の姿は微笑ましく、その表情からは幸せがにじみ出ています。母親が子どもに向ける無償の愛情、その姿は聖母マリアと幼子イエスの神聖な姿にも重なって見えます。



《母性の喜び》  
ジョン・ウィリアム・ヘインズ 19世紀半ば-20世紀初

作品はすべてヨハネ・パウロII世美術館所蔵 Museum John Paul II. The Carroll-Porczyński Foundation

## 生誕100年記念 ロベール・ドアノー展

2012年7月12日(木) - 8月26日(日)

フランス人写真家ロベール・ドアノー(1912-1994)は、パリ、そしてパリ郊外を舞台に数多くの傑作を生み出した20世紀を代表するアーティストといえるでしょう。なにげなく過ぎては消えていく日々の一瞬一瞬をあざやかにすくい上げ、あふれるドラマの一場面へと一転させる、人間愛写真の数々は、時代や国境を越えて世界中の雑誌等で紹介され、幅広い共感を得ました。今回の展覧会では、その初期作品や著名人達のポートレート、また初公開となるカラー写真も含め、約200点を展示し、ドアノーの全貌をご紹介します。



《パリ市庁舎前のキス》 1950年 ©Atelier Robert Doisneau

### 防長の絵図 - 美しき古地図の世界

2012年7月24日(火) - 8月26日(日)

身近な場所のかつての姿をたどることができる、昔の地図。手作業によってひとつひとつ制作されたそれらは、「絵図」という名のとおり、「絵画」と「地図」の両要素を合わせ持つ、複合的な魅力を持っています。かつて江戸時代の萩藩には、絵図方と呼ばれる、主に絵図制作を専門とする部署がありました。彼らが手がけた絵図は、制作規模や鮮やかな色彩、描写の緻密さなど、全国的にも屈指の質を誇っています。本展ではこの萩藩絵図方による、街道とその周囲の土地を長大かつ細やかに描いた絵図を中心に、多彩な山口の絵図を紹介します。「知っているあの場所」の数百年前が描かれた、美しい画面をご堪能下さい。



《行程記》 18世紀 山口県文書館所蔵